

種鳥作 十六種
 團貞魚
 仁母丸症
 七如
 七如



釋
 藥



十六編上



團圓魚



百
の
智
美

ありのみ

第十七編二月中旬賣出の其意不々者故あそ
し被るるの事上字石相留しりもその程奉書
鶴居

倭紫 田舎源氏

仙雀堂
板

第十六編上冊

柳亭種彦作
歌川國貞画

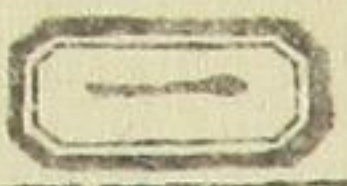


倭紫第十六編

林之辭は梅無万葉の菊なり昔の草雙子に序あり源氏小
 蚊屋多男色なり。お湯のあつたがそれかも知れぬ祈禱まじりて
 心で薬と吞る事もある。それよりも無しの繪冊子の敷向めて
 二編の序に記し如く江の葉の如きまでの梗既と初まうはて綴り
 駝の外の酒で明の浦まで船の漕つたれと作者の用心ある
 るれば得ぬ帆もあげがく保の潤の最まては様もあつた
 事あり。行燈屋の脇息の形さへ安んじ東の時代より夢も
 知る礎枕比翼は延まで画きながら其の床ありあられて蚊屋の
 昔の草雙子と机帳より源氏無蚊帳とあて書けるものこと
 昔の草雙子と机帳より源氏無蚊帳とあて書けるものこと

天保六年乙未春

柳亭種彦



何と云ふ
 ろの
 病のなき孫よ
 太秦廣隆寺
 本尊ハ薬師如来
 るり七日籠りの
 事のさしを
 日記よをえまれの
 それを花ちる
 里の趣向ふ
 かてりちみ
 ころ



太秦
 七日
 籠り
 図

とちかろえせ
 名を
 花郷



綾平
 眉を
 拂ひ
 名を
 花郷
 と



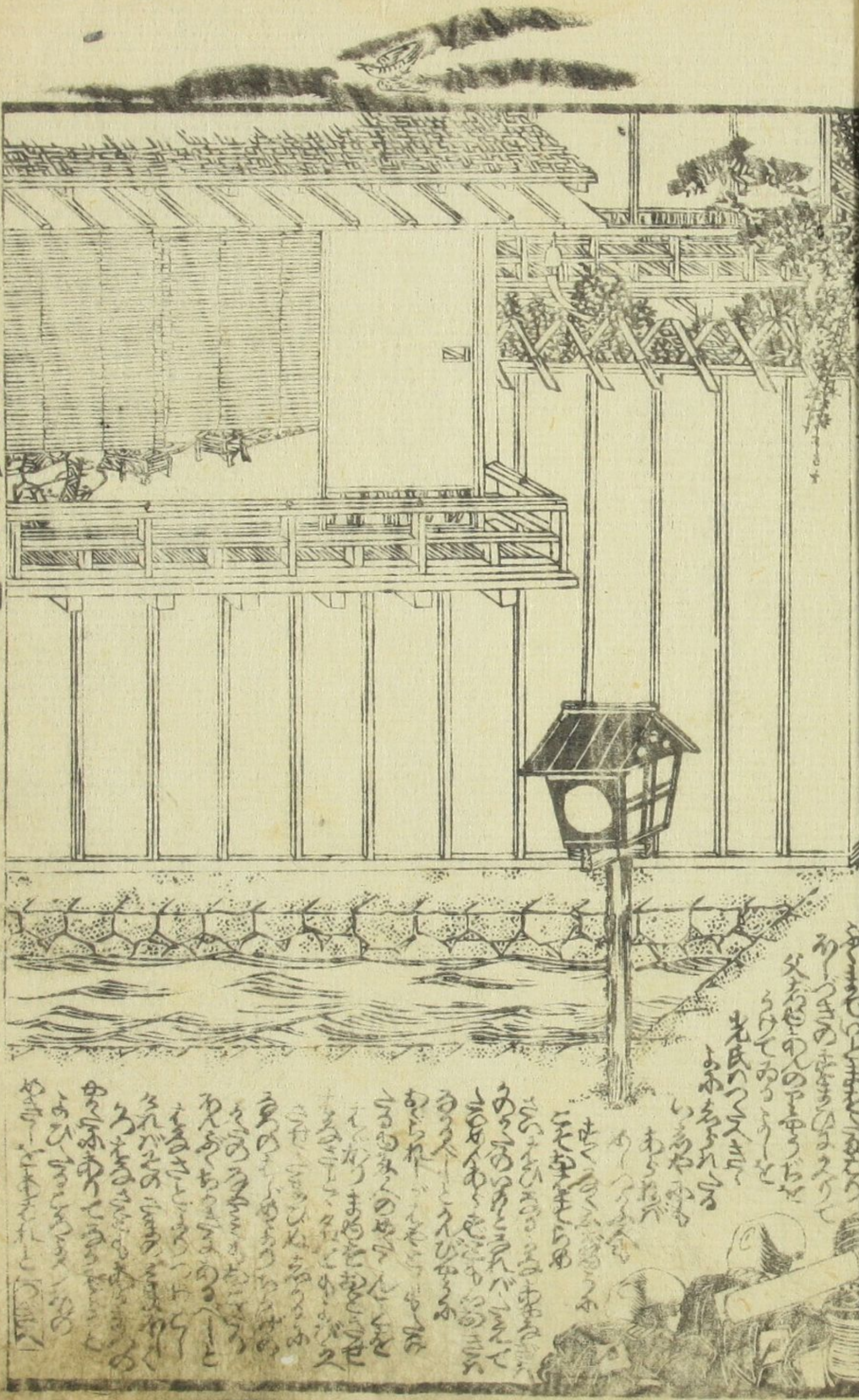
十五巻のついでに
あつてうらさきおもてあつて
くわをわげしつらうらさきの
るつらせむつらをわげつら
あつてうらさきおもてあつて
くわをわげしつらうらさきの
るつらせむつらをわげつら
あつてうらさきおもてあつて
くわをわげしつらうらさきの
るつらせむつらをわげつら

あつてうらさきおもてあつて
くわをわげしつらうらさきの
るつらせむつらをわげつら
あつてうらさきおもてあつて
くわをわげしつらうらさきの
るつらせむつらをわげつら
あつてうらさきおもてあつて
くわをわげしつらうらさきの
るつらせむつらをわげつら



あつてうらさきおもてあつて
くわをわげしつらうらさきの
るつらせむつらをわげつら
あつてうらさきおもてあつて
くわをわげしつらうらさきの
るつらせむつらをわげつら
あつてうらさきおもてあつて
くわをわげしつらうらさきの
るつらせむつらをわげつら

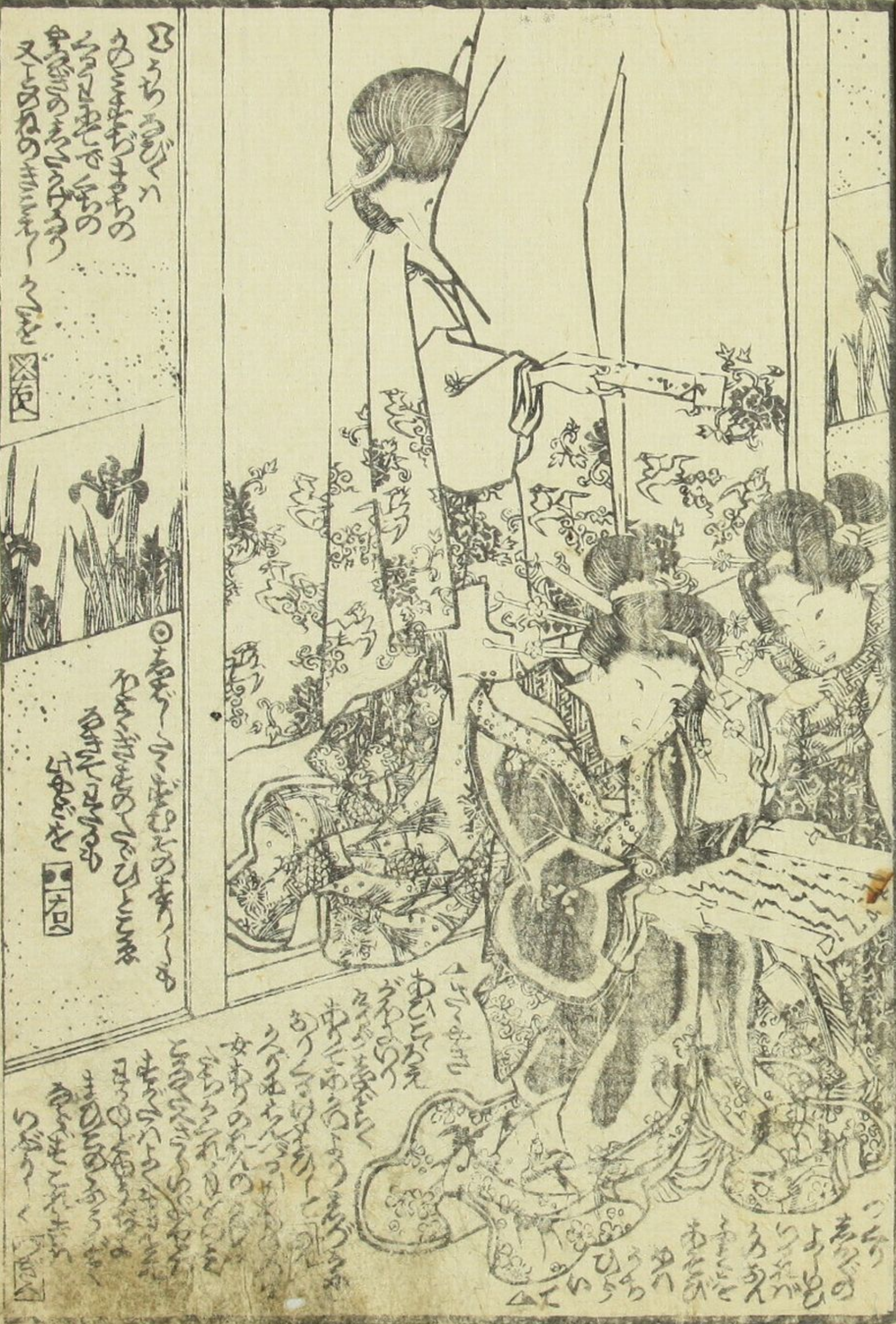
あつてうらさきおもてあつて
くわをわげしつらうらさきの
るつらせむつらをわげつら
あつてうらさきおもてあつて
くわをわげしつらうらさきの
るつらせむつらをわげつら
あつてうらさきおもてあつて
くわをわげしつらうらさきの
るつらせむつらをわげつら



此の建物は源氏の邸宅と云ふべし
 其の庭には石燈籠ありて
 夜に燃ゆる光を照らす
 此の建物は源氏の邸宅と云ふべし
 其の庭には石燈籠ありて
 夜に燃ゆる光を照らす



此の庭は源氏の邸宅の庭と云ふべし
 其の庭には石燈籠ありて
 夜に燃ゆる光を照らす
 此の庭は源氏の邸宅の庭と云ふべし
 其の庭には石燈籠ありて
 夜に燃ゆる光を照らす



此の如き
 事はなほ
 世にあり
 けり

此の如き
 事はなほ
 世にあり
 けり

此の如き
 事はなほ
 世にあり
 けり

此の如き
 事はなほ
 世にあり
 けり



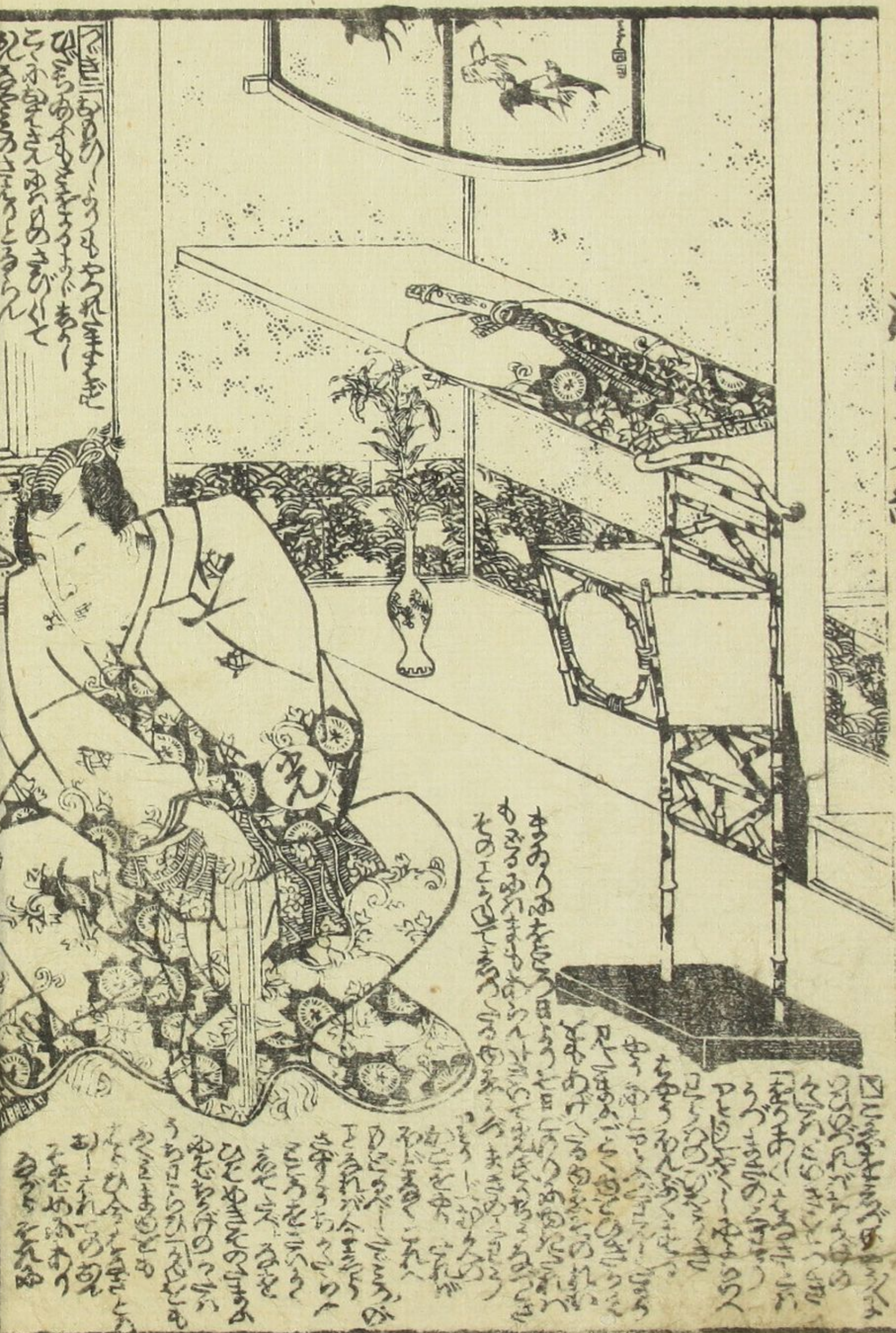
此の如き
 事はなほ
 世にあり
 けり

此の如き
 事はなほ
 世にあり
 けり

此の如き
 事はなほ
 世にあり
 けり

此の如き
 事はなほ
 世にあり
 けり

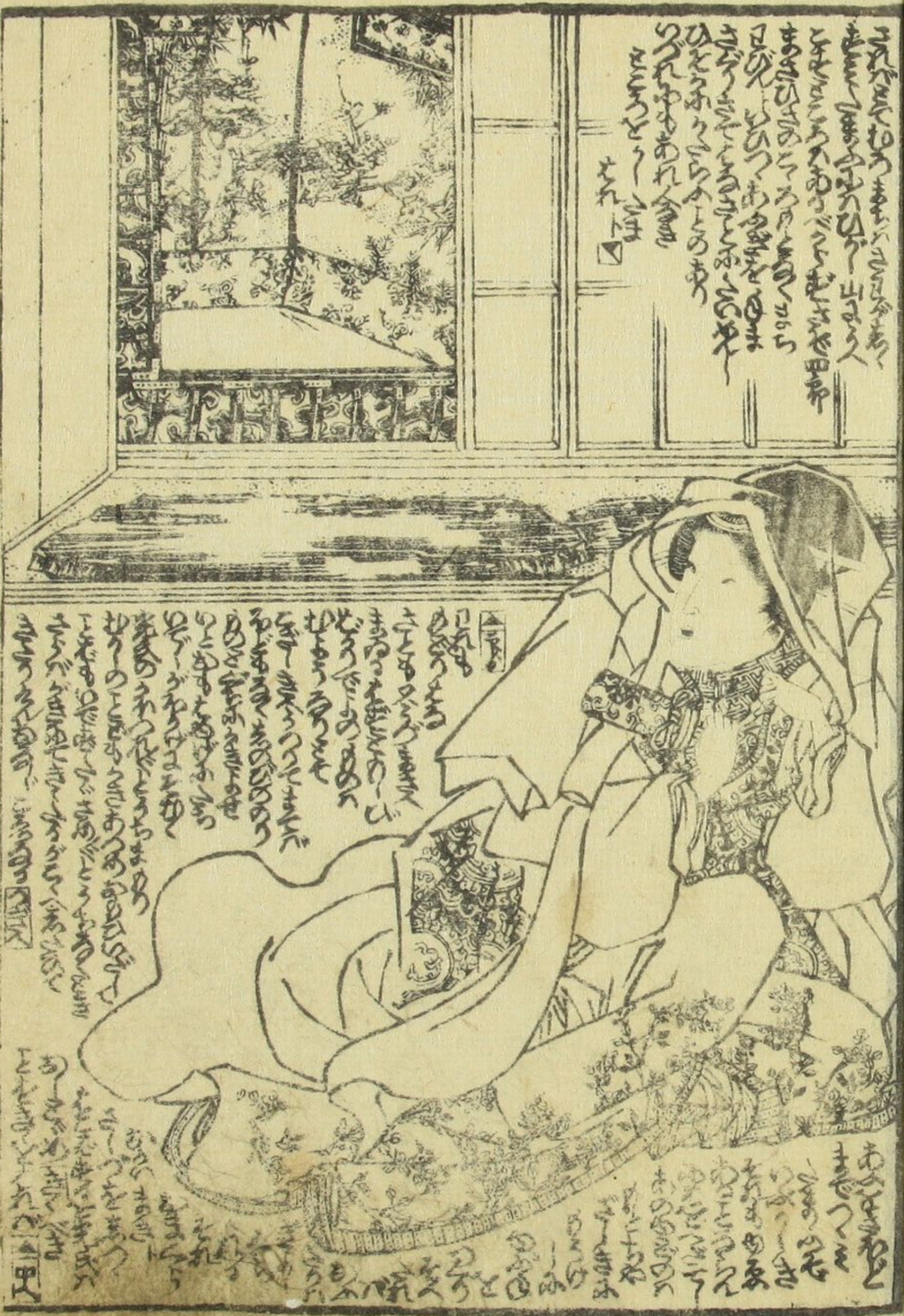
此の如き
 事はなほ
 世にあり
 けり



源氏物語
 十六編
 源氏物語
 十六編

源氏物語
 十六編
 源氏物語
 十六編

源氏物語
 十六編
 源氏物語
 十六編

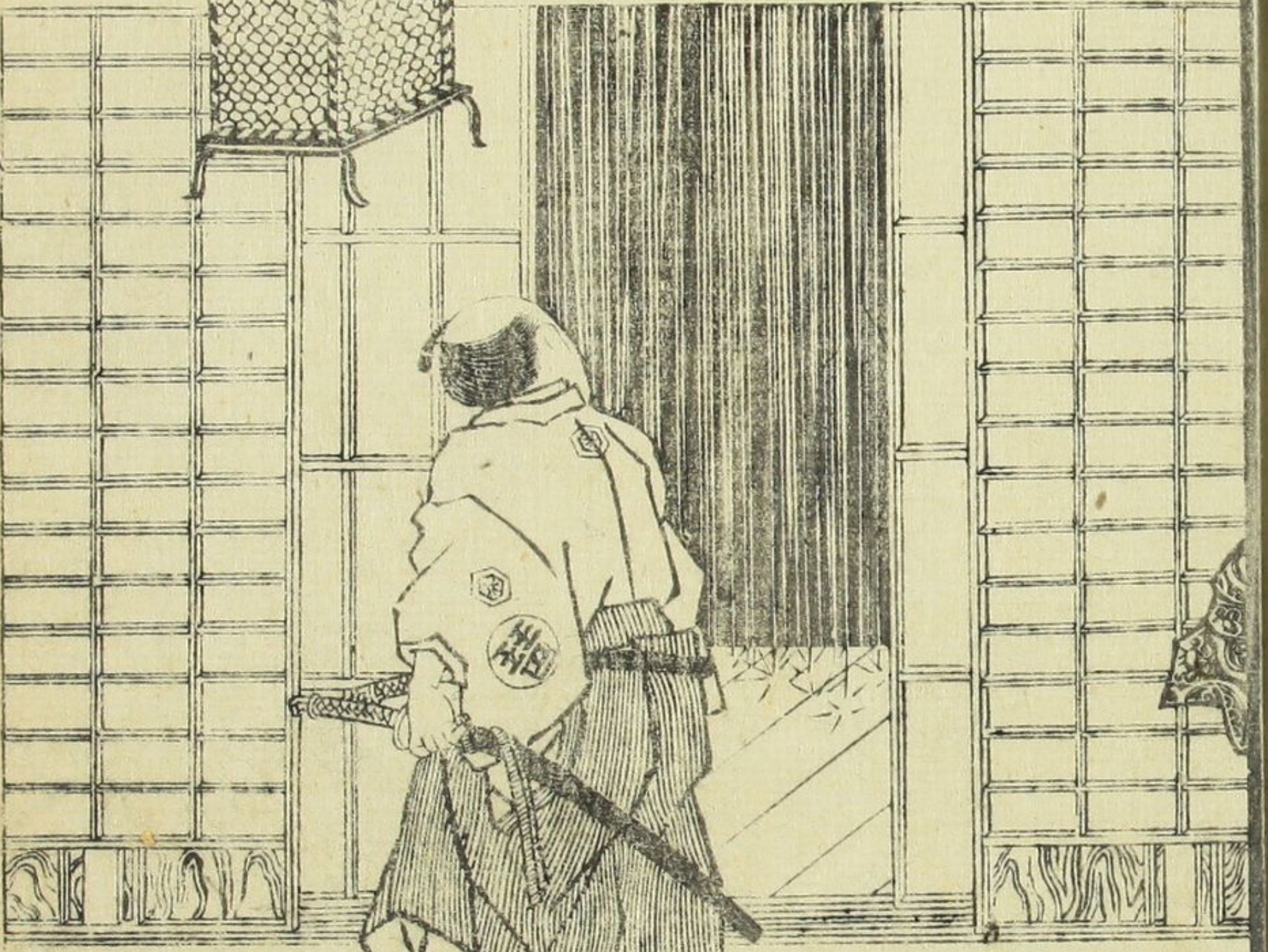


源氏物語
 十六編
 源氏物語
 十六編

源氏物語
 十六編
 源氏物語
 十六編

源氏物語
 十六編
 源氏物語
 十六編

Handwritten text in a cursive style, likely a transcription of a scene or dialogue, located at the top of the left page.



Handwritten text in a cursive style, likely a transcription of a scene or dialogue, located at the bottom of the left page.

Handwritten text in a cursive style, likely a transcription of a scene or dialogue, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive style, likely a transcription of a scene or dialogue, located at the bottom of the right page.

源氏十六



種彦作

國貞画



御免江戸曆開板所
 南洋師書東海道
 道法早筭用道中記
 一校揚

御免江戸曆開板所
 南洋師書東海道
 道法早筭用道中記
 一校揚

御免江戸曆開板所
 南洋師書東海道
 道法早筭用道中記
 一校揚

御免江戸曆開板所
 南洋師書東海道
 道法早筭用道中記
 一校揚

御免江戸曆開板所
 南洋師書東海道
 道法早筭用道中記
 一校揚

御免江戸曆開板所
 南洋師書東海道
 道法早筭用道中記
 一校揚

御免江戸曆開板所
 南洋師書東海道
 道法早筭用道中記
 一校揚

御免江戸曆開板所

載陽帖

日本名所之繪

女古狀揃園生竹

還魂紙料

古画入二册

玄同放言

初編二編

高井蘭山編撰

御免江戸曆開板所 每年十月下旬以下 高初めの中
 載陽帖 南山神師書東海道 道法早筭用道中記 一校揚
 日本名所之繪 唐紙摺一枚 蕙齋鈿形紹真筆
 女古狀揃園生竹 大紙本 両品出来 高井蘭山編撰
 還魂紙料 柳亭種彦隨筆 古画入二册
 玄同放言 初編二編 共六冊
 高井蘭山編撰

玄同放言

初編二編

高井蘭山編撰

御免江戸曆開板所
 南洋師書東海道
 道法早筭用道中記
 一校揚

三枝木枝輯
芳州集全三冊 開
蘭集全冊 追
戲童遊言画手本一名鳥羽繪早草
廣益懷中早割大全 小本
塵劫記
新形深彩目 植花手引糸
芝居似顔早替古 後編
役者似顔早替古 全一冊五渡亭國貞画

八文字自英評
三箇之津 役者評判記
藝品定 役者評判記
即考百籤 全一冊

田舎源氏錦繪
前北齋為一翁画 江戸島大山往來雙六
同翁画東海道五十三次錦繪 中奉書八ツ切り

考訂大和詞 柳亭校
歌舞妓年代記初編拾遺 柳亭種彦編
故馬馬翁の書りつされし事どもとあり古圖古画をおわくうら
れ悉証を引考へを附しり

江戸通油町地本書林 仙鶴堂 小林喜右衛門印行

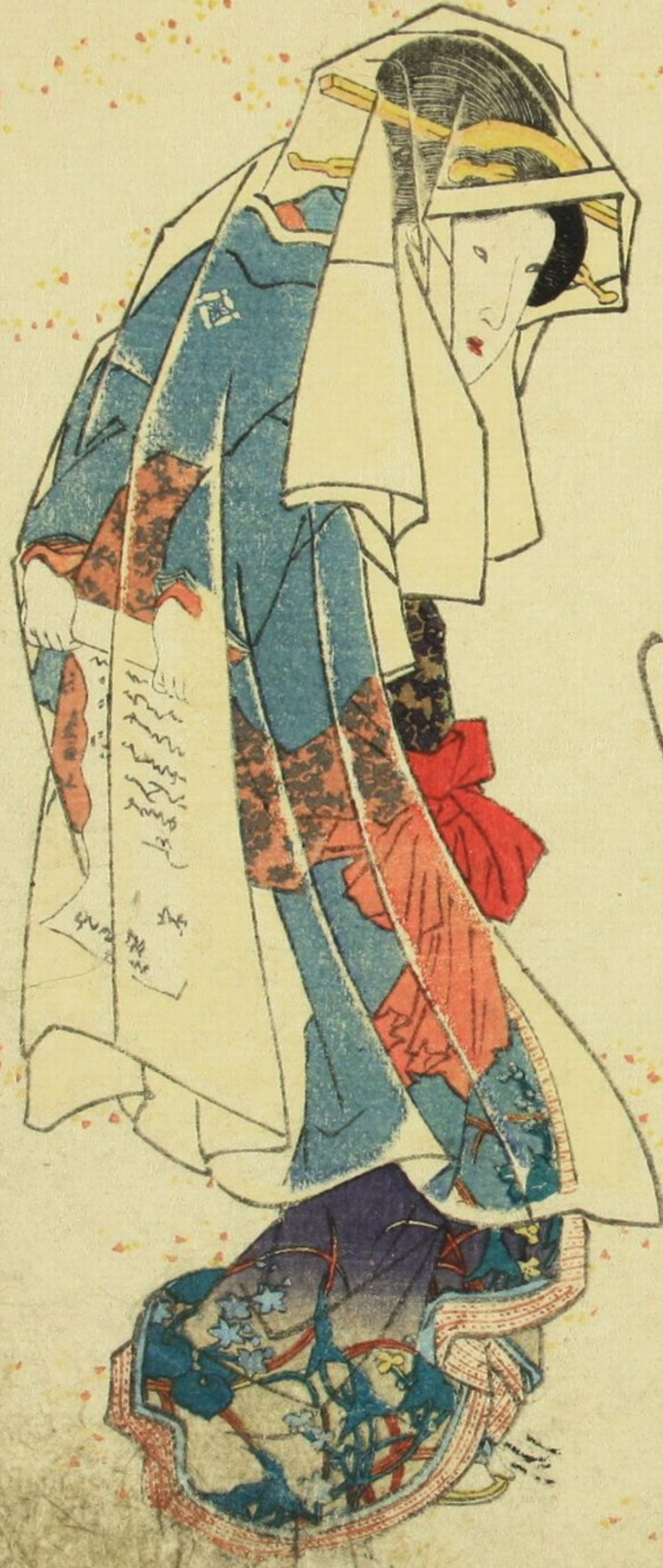
江戸島大山往來雙六 柳亭撰
歌川國貞画

中奉書八ツ切り

柳亭種彦編

近刻

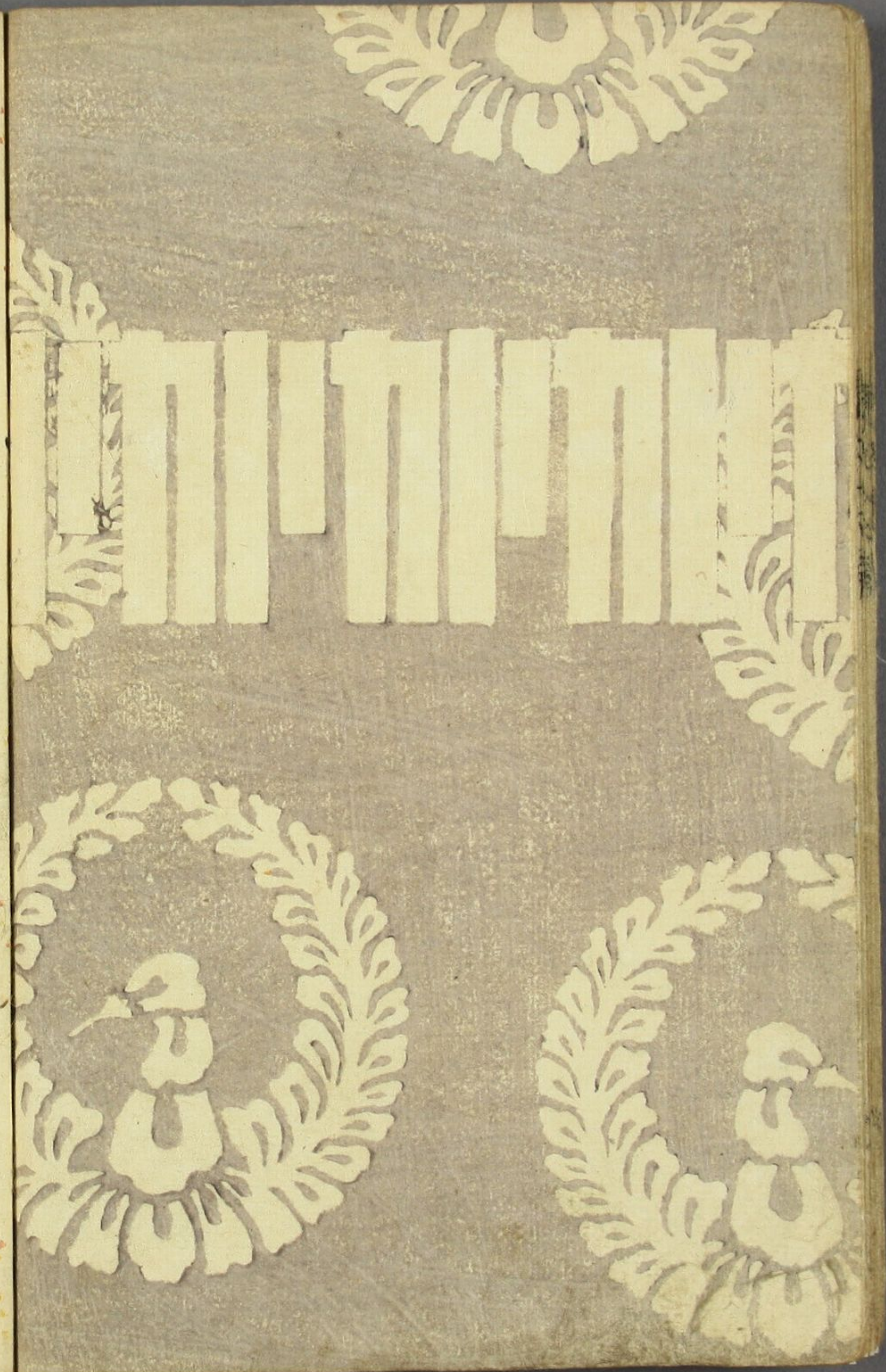
十六編下



鶴屋素直

鳥

籠屋下



源氏物語の巻名... 源氏物語の巻名... 源氏物語の巻名...



源氏物語の巻名... 源氏物語の巻名... 源氏物語の巻名...

田舎源氏

種彦作
國貞画



鶴屋壽梓

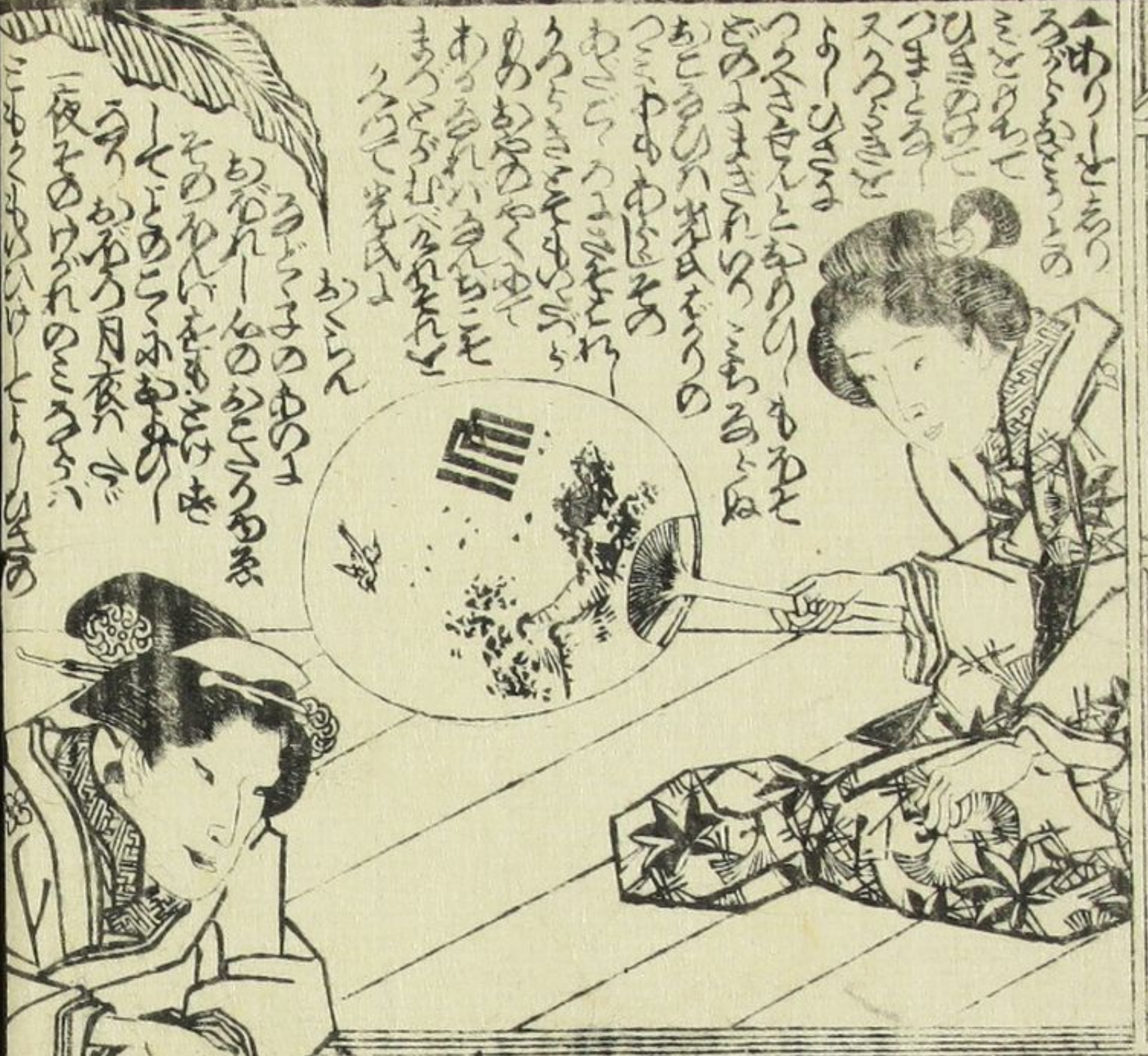
源氏物語の巻名... 源氏物語の巻名... 源氏物語の巻名...

十六編
冊下





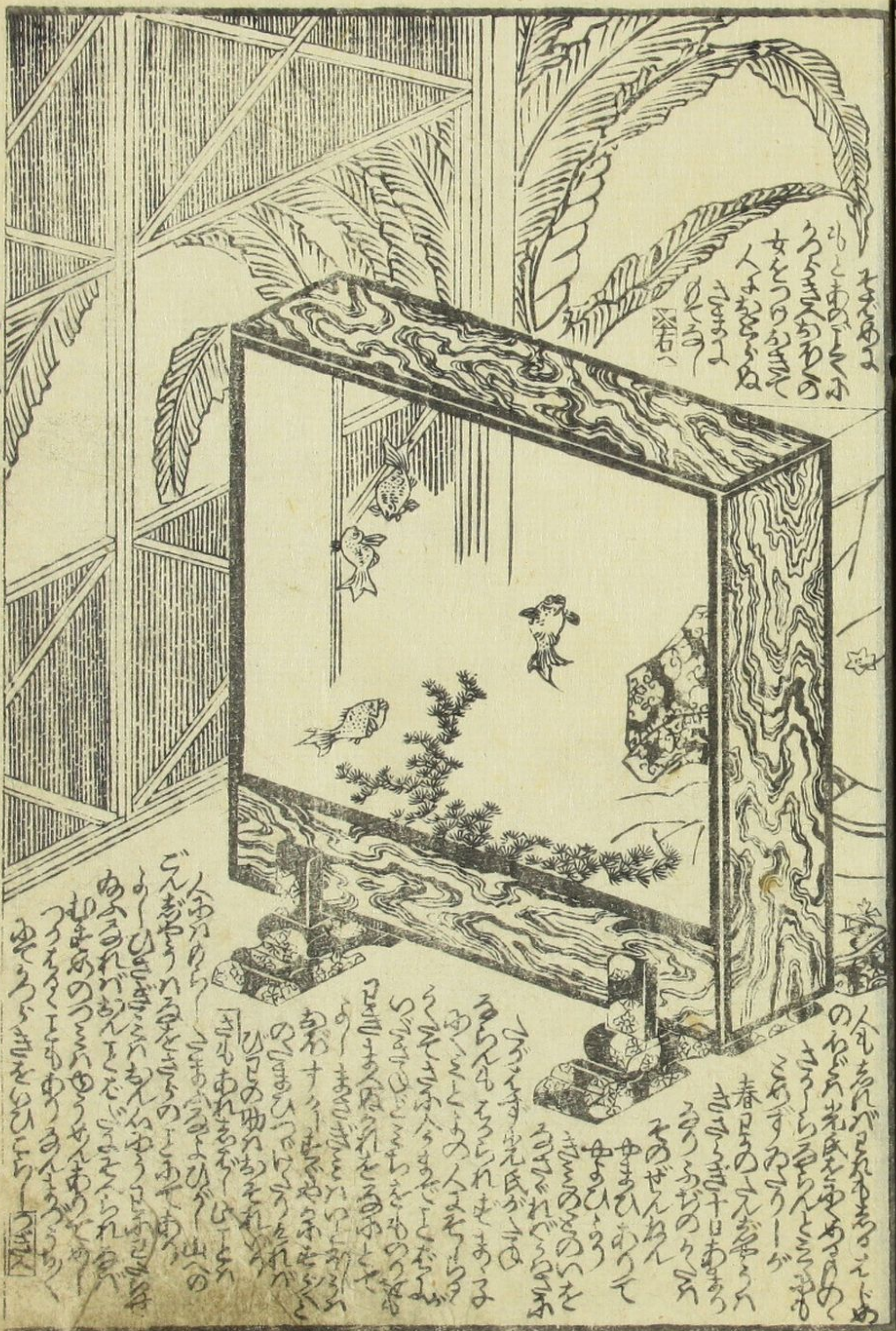
あはれまの
あめりき
ゆき



あはれまの
あめりき
ゆき
あはれまの
あめりき
ゆき
あはれまの
あめりき
ゆき
あはれまの
あめりき
ゆき



あはれまの
あめりき
ゆき
あはれまの
あめりき
ゆき
あはれまの
あめりき
ゆき
あはれまの
あめりき
ゆき



あはれまの
あめりき
ゆき
あはれまの
あめりき
ゆき
あはれまの
あめりき
ゆき
あはれまの
あめりき
ゆき



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a commentary or transcription related to the illustration above.



Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a commentary or transcription related to the illustration above.

241 衣冠の異なる人の
 心算の御座り給ふ所
 の御座り給ふ所を
 人ぞんねぬとていふも
 人にさへも御座り給ふ
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を



242 衣冠の異なる人の
 心算の御座り給ふ所
 の御座り給ふ所を
 人ぞんねぬとていふも
 人にさへも御座り給ふ
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を



243 衣冠の異なる人の
 心算の御座り給ふ所
 の御座り給ふ所を
 人ぞんねぬとていふも
 人にさへも御座り給ふ
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を

244 衣冠の異なる人の
 心算の御座り給ふ所
 の御座り給ふ所を
 人ぞんねぬとていふも
 人にさへも御座り給ふ
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を



245 衣冠の異なる人の
 心算の御座り給ふ所
 の御座り給ふ所を
 人ぞんねぬとていふも
 人にさへも御座り給ふ
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を
 御座り給ふ所を



Vertical column of handwritten Japanese text on the right side of the top page, likely a commentary or dialogue related to the illustration.

Horizontal column of handwritten Japanese text at the bottom of the top page, possibly a signature or additional notes.



Vertical column of handwritten Japanese text on the right side of the bottom page, likely a commentary or dialogue related to the illustration.

Large block of handwritten Japanese text at the bottom of the bottom page, possibly a signature or additional notes.

Small vertical text on the left margin of the bottom page, possibly a page number or reference.

源氏十六夜の物語の
一巻の巻頭
源氏物語の
一巻の巻頭
源氏物語の
一巻の巻頭

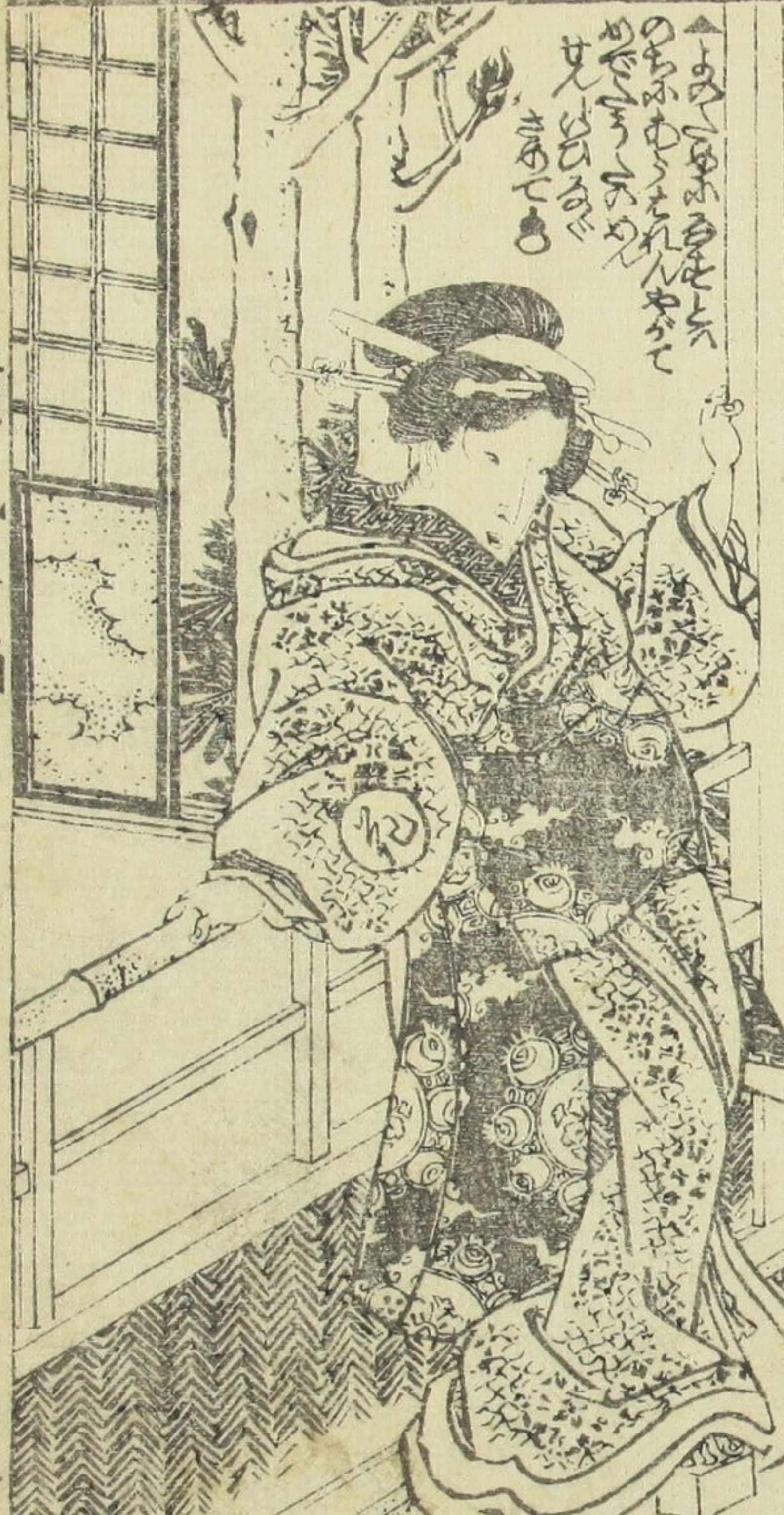


源氏物語の
一巻の巻頭
源氏物語の
一巻の巻頭
源氏物語の
一巻の巻頭

源氏物語の
一巻の巻頭
源氏物語の
一巻の巻頭
源氏物語の
一巻の巻頭

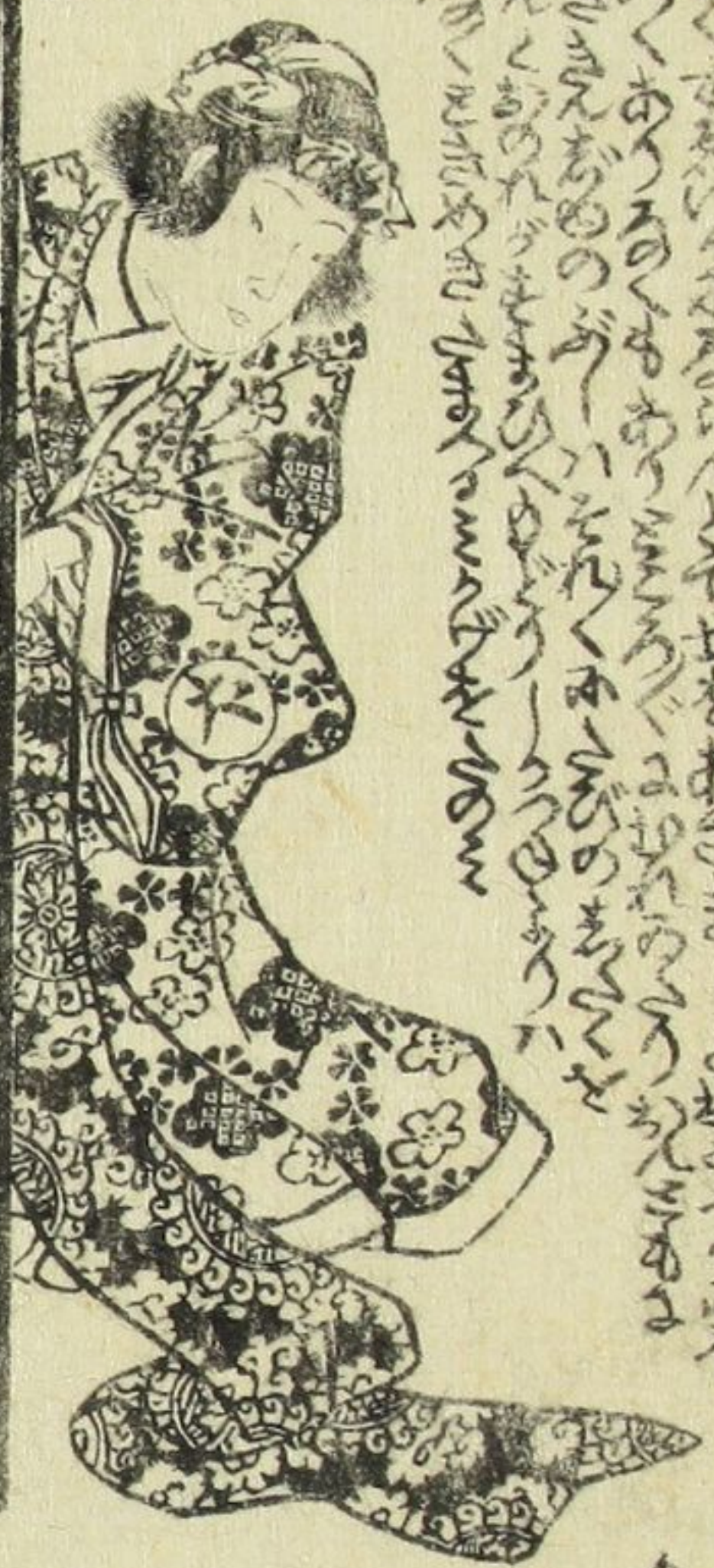
源氏物語の
一巻の巻頭
源氏物語の
一巻の巻頭
源氏物語の
一巻の巻頭

源氏物語の
一巻の巻頭
源氏物語の
一巻の巻頭
源氏物語の
一巻の巻頭



源氏物語の
一巻の巻頭
源氏物語の
一巻の巻頭
源氏物語の
一巻の巻頭

○老氏ハ...
人ハ...
日ハ...
...



...

...

...



...

...

...

國貞画種彦

○ありひまのうもをまをよる年
 けりてはあひをまわらむありあつらん
 ひまひまのうもをまをよる年
 いさうらうのうもをまをよる年
 ままぐらひあひのうもをまをよる年
 ころひのまをまわらむありあつらん
 ささひのまをまわらむありあつらん
 かりきるとりてあひまをまわらむありあつらん
 かとそわたりてあひまをまわらむありあつらん
 むつらまをまわらむありあつらん
 ままひなれあひまをまわらむありあつらん
 ひまひまのうもをまをよる年
 あすまをまわらむありあつらん
 つひあひまをまわらむありあつらん
 あるまをまわらむありあつらん
 ひまひまのうもをまをよる年
 ままひなれあひまをまわらむありあつらん
 ささひのまをまわらむありあつらん
 かりきるとりてあひまをまわらむありあつらん
 かとそわたりてあひまをまわらむありあつらん
 むつらまをまわらむありあつらん
 ままひなれあひまをまわらむありあつらん



さきまをまわらむありあつらん
 むつらまをまわらむありあつらん

さきまをまわらむありあつらん
 むつらまをまわらむありあつらん

瀧澤篁民著

迎福南鏡録

一名相宅年引草
 全部五冊 近刻

右同著

雅俗百傳奇

大本全五冊繪入
 平假名附 近刻

女消息往來

全一冊

俳諧今四歌仙

全一冊
 梅室 禾木 桐兩 小圃 四大人の作

近東瀧澤相宅の女年々出月々泣いて至車坐り十年の経つては...

此書の雅俗と云ふは古人の列傳と輯録を七載の端をまゝ忠孝義烈尚氣節操の世を走れりし隠逸名聞技藝好事の諸人を以てして其の進退と欲一不善を...

此の書は雅俗と云ふは古人の列傳と輯録を七載の端をまゝ忠孝義烈尚氣節操の世を走れりし隠逸名聞技藝好事の諸人を以てして其の進退と欲一不善を...

此の書は雅俗と云ふは古人の列傳と輯録を七載の端をまゝ忠孝義烈尚氣節操の世を走れりし隠逸名聞技藝好事の諸人を以てして其の進退と欲一不善を...

此の書は雅俗と云ふは古人の列傳と輯録を七載の端をまゝ忠孝義烈尚氣節操の世を走れりし隠逸名聞技藝好事の諸人を以てして其の進退と欲一不善を...

此の書は雅俗と云ふは古人の列傳と輯録を七載の端をまゝ忠孝義烈尚氣節操の世を走れりし隠逸名聞技藝好事の諸人を以てして其の進退と欲一不善を...

此の書は雅俗と云ふは古人の列傳と輯録を七載の端をまゝ忠孝義烈尚氣節操の世を走れりし隠逸名聞技藝好事の諸人を以てして其の進退と欲一不善を...

此の書は雅俗と云ふは古人の列傳と輯録を七載の端をまゝ忠孝義烈尚氣節操の世を走れりし隠逸名聞技藝好事の諸人を以てして其の進退と欲一不善を...

此の書は雅俗と云ふは古人の列傳と輯録を七載の端をまゝ忠孝義烈尚氣節操の世を走れりし隠逸名聞技藝好事の諸人を以てして其の進退と欲一不善を...

此の書は雅俗と云ふは古人の列傳と輯録を七載の端をまゝ忠孝義烈尚氣節操の世を走れりし隠逸名聞技藝好事の諸人を以てして其の進退と欲一不善を...

天保六年乙未春新彫

大書書林

消息往来

消息往来詳註 高井蘭山述 全一冊

消息往来世よりのこと 初巻の人あり 解しごとしとまじりて 初巻の初巻と 初巻の初巻と

合壽福三世相大鑑 全一冊

合壽福三世相大鑑 全一冊

奉獨枕吉袋入 山櫻連々 逸軒撰舟作

九巻のこの枕吉袋の初巻の人あり 初巻の初巻と 初巻の初巻と

教真草消息往来 全一冊

柳亭種彦作繪草紙三種

柳亭種彦作繪草紙三種

彦紫田舎源氏 十四編より十七編まで開板仕り

歌川國貞画

枕琴夢之通路 六冊

上州機華綾織 六冊

井筒の莖子 八百屋の娘 紫房紋多箱 六冊

美艷仙女香翠翁 仙女香場西馬 南信馬町 三丁目西側 坂本氏



書物錦繪 江戸通油町 團扇紙 問屋鶴屋晋右衛門

隅田川西岸覽 北齋筆 全三冊

江戸名所東鑑 荊筆 全三冊

江戸名所物見 清長筆 全三冊

東海道花の都路 狂歌 全三冊

戲場頭微鏡 黙々漢隱作 全二冊

右五通り共橋上品にてとる 右進物杯共お茶屋後か

教真草の真草二體 全二冊

自問戲言句合 二冊

歌川國芳狂画

浮浪さり 六冊

歌川貞秀画

昔むらさきちんちん 二冊

茶番のいろは 二冊

多海

